

「与論島の海を守るには」



那間小学校 5 年生

講師：誇れるふるさとネットワーク

池田 龍介さん

令和 2 年度与論町海洋教育

05号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国 10 の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

10月6日に那間小学校5年生の授業を見学させていただきました。

「誇れるふるさとネットワーク・池田龍介さん」が講師の出前授業です。「与論島の海を守るにはどうしたらいいんだろう？今日はみんなと一緒に考えたい」という、池田さんの問いかけから授業が始まりました。



与論島だけでなく、世界中で深刻化している海ごみ・マイクロプラスチックの現状と問題を「使い捨てゴミ増加の社会背景」、「魚や鳥の誤飲をはじめとした生物被害」などの写真、映像を交えながら学んでいました。実際に地図を見ながら、漂着ゴミはどこの国から来ているかの予想もしていました。



授業の中で、子どもたちが「クリーン大作戦」で海ごみ拾いを行っていることに対し、池田さんからそもそも「どうして海ごみ拾いするんだろう？」という問いがありました。改めて一人ひとりがその理由、目的を考え、それぞれの意見を発表していました。

「ゴミのせいで魚が死んでしまうから」、「自然を守るため」、「みんなが気

持ちよくいられるように」など意見がでました。

授業の最後には「海を汚さない暮らし」について、食器洗いを例に毎日の生活と環境とのつながりを学んでいました。「自分たちができることは何だろう？」と考え、発表をしていました。

子どもたちの発表後に池田さんから、「環境に関する課題は、答えは一つではないこと、どうしたらいいんだろうと一人ひとりが考えることがとても大切。今後もお家や、学校でできることを考えてほしい」というメッセージがありました。



取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2020.10.06